



市の木 ラカンマキ



第141号 平成21年11月1日 発行
発行 東金市議会
〒283-8511
東金市東岩崎1番地1
電話 0475 (50) 1181
発行人 東金市議会議長 石渡 徹男

平成21年第3回 東金市議会定例会

市長提出議案

◆第1号議案
専決処分した事件
の承認について

平成21年度東金市
一般会計補正予算
(第4号)
既定の予算額179
億1,359万1千円
に歳入歳出それぞれ
2,400万円を増
り還付する必要が生じ
る。

東金市消防団条例の制定など 13議案を可決・承認

平成21年第3回東金市議会定例会は、9月7日から9月28日までの22日間の会期で開かれました。

本定例会では、市長提出の23議案が提出され13議案が可決・承認、平成20年度各会計決算認定10議案については特別委員会を設置し付託、閉会中の継続審査となりました。

また、議員提出の発議案6件が提出され、すべて可決されました。

上程された請願1件、陳情4件はすべて採択となりました。

市政に関する一般質問には、各会派から代表質問に4名、個人質問に5名が質問席に立ち、地域医療、産業振興、福祉・教育行政や市の財政など幅広い課題について活発な議論が行われました。

平成21年第3回 東金市議会臨時会

市長提出議案

◆第1号議案
平成21年度東金市
一般会計補正予算
(第3号) について

既定の予算額172
億9,646万8千円
に歳入歳出それぞれ6
億1,712万3千
円を増額し、予算の
総額を179億1,359
万1千円とし、歳入で
国庫支出金2億7千
円を減額、(原案可決・全員賛成)

平成21年度東金市一般会計 補正予算を可決

平成21年第3回東金市議会臨時会が、去る7月30日に開かれました。

この臨時会には、市長提出の議案1件が提出され、可決されました。

- ◆(原案承認・全員賛成)
◆第2号議案
東金市消防団条例
の制定について
「機能別消防団員制
度」を導入し、併せて
東金市消防団条例の全
般的な見直しを行い、
消防組織法に基づく諸
規定の整備を図るため
のもの。
(原案可決・全員賛成)
- ◆第3号議案
市税条例の一部を
改正する条例の制定
について
普通徴収に係る市県
民税、固定資産税及び
都市計画税における全
期前納報奨金制度を廃
止するためのもの。
(原案可決・賛成多数)
- ◆第4号議案
東金市国民健康保
険条例の一部を改正
する条例の制定につ
いて
健康保険法施行令等
の改正により出産育児
一時金の支給額が増額
されるに伴い、本
条例の出産育児一時金
を被用者保険と同額に
するためのもの。
(原案可決・全員賛成)
- ◆第5号議案
東金市職員の勤務
時間、休暇等に関す
る条例の一部を改正
する条例の制定につ
いて
平成21年7月1日よ
り職員の勤務時間を1
日当たり7時間45分
に改定したことに伴い、
- ◆第6号議案
東金市情報公開条
例の一部を改正する
条例の制定について
開示請求手続におけ
る文書特定に関する補
正手続を規定し、明確
にすること等につい
て、必要な事項を定め
るためのもの。
(原案可決・全員賛成)
- ◆第7号議案
平成20年度東金市
一般会計決算の認定
について
歳入総額177億7
千911万2千円で、
前年度に対し2億1
千788万2千円、1
・2%の増額、歳出総
額172億2,347
万2千2千円で、前
年度に対し2億1,27
万4千円、1・2%の増
額となったもの。
(継続審査)
- ◆第8号議案
平成20年度東金市
国民健康保険事業特
別会計決算の認定に
ついて
歳入総額61億6,1
千34万3千円で、
前年度に対し5,92
万4千5千円、1・0%
の増額、歳出総額60
億3,621万3千
円で、前年度に対し1
億5,362万8千円、
2・6%の増額となっ
たもの。
(継続審査)
- ◆第9号議案
平成20年度東金市
老人保健特別会計決
算の認定について
歳入総額3億1,5
千58万1千円で、
前年度に対し29億6,
601万7千円、90・
4%の減額、歳出総
額3億1,238万
5千5千円で、前年度に
対し29億8,569万
9千5百55の減額とな
ったもの。
(継続審査)
- ◆第10号議案
平成20年度東金市
後期高齢者医療特別
会計決算の認定につ
いて
本会計は、平成20年
4月に新たに設置した
特別会計で、歳入総
額3億9,210万
6千円、歳出総額3
億7,875万7千
円となったもの。
(継続審査)
- ◆第11号議案
平成20年度東金市
介護保険事業特別会
計決算の認定につ
いて
歳入総額27億6,1
千0万2千2千円で、
前年度に対し7,743
万4千円、2・9%の
増額、歳出総額26億
9,130万1千1千
円で、前年度に対し7,
256万2千2千円、2・
8%の増額となったもの。
(継続審査)
- ◆第12号議案
平成20年度東金市
下水道事業特別会計
決算の認定について
歳入総額21億3,
261万2千2千円、4・
3%の増収、収益的
支出8億7,866
万1千1千円で、前
年度に対し282万1千
- ◆第13号議案
平成20年度東金市
農業集落排水事業特
別会計決算の認定に
ついて
歳入総額12億9
千6万3千3千円で、
前年度に対し587万5
千円、0・5%の減額、
歳出総額11億9,4
千40万5千5千円で、
前年度に対し437万3
千円、0・4%の減額
となったもの。
(継続審査)
- ◆第14号議案
平成20年度山武郡
市予防接種健康被害
調査特別会計決算の
認定について
歳入総額14万3千
円、健康被害の届出が
なかったため歳出が
なかったため。
(継続審査)
- ◆第15号議案
平成20年度東金市
ガス事業会計決算の
認定について
消費税抜き金額
で、収益的収入10億
3,617万9千9
千円で、前年度に
対し4,261万2千2
千円、4・3%の増
収、収益的支出8億
7,866万1千1千
円で、前年度に
対し282万1千

※お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

円、0・3%の減額となったもの。(継続審査)

◆第16号議案

平成20年度東金市ガス事業剰余金の処分について

平成20年度東金市ガス事業会計決算の結果、剰余金1億6,260万8,097円が生じたため、処分について定めようとするもの。(継続審査)

◆第17号議案

平成21年度東金市一般会計補正予算(第5号)について

既定の予算額179億3,759万1千円に歳入歳出それぞれ5億4,111万8千円を増額し、予算の総額を184億4,170万9千円としようとするもの。主な内容は、歳入で、繰入金3億3千万円を減額、地方特例交付金4,757万5千円、地方交付税3億9,523万3千円、国庫支出金3億4,164万8千円、県支出金1,471万5千円、諸収入2,394万7千円を増額、歳出で総務費7,139万円、民生費8,598万7千円、農林水産業費4,474万3千円、商工費1,790万円、土木費8,150万円、消防費5,298万3千円、教育費1億3,655万2千円を増額。予算調整のため予備費602万5千円を増額。

◆第18号議案

平成21年度東金市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

既定の予算額62億9,074万7千円に歳入歳出それぞれ4,733万1千円を増額し、予算の総額を63億3,807万8千円としようとするもの。平成20年度国民健康保険事業の清算に伴う国庫支出金の療養給付費負担金の増額、及び療養給付費等交付金返還金の増額、また、出産育児一時金の増額を行おうとするもので、主な内容は、歳入で国庫支出金2,433万4千円、繰越金2,213万円を増額、歳出で保険給付費261万4千円、諸支出金3,511万1千円を増額。予算調整のため予備費960万6千円を増額。(原案可決・賛成多数)

◆第19号議案

平成21年度東金市老人保健特別会計補正予算(第1号)について

既定の予算額2,58万3千円に歳入歳出それぞれ104万9千円を増額し、予算の総額を2,663万2千円としようとするもの。平成20年度医療給付の清算に伴う国庫支出金等の増額、及び支払基金交付金過年度分返還金の増額を行おうとするもので、主な内容は、歳入で国庫支出金566万1千円を増額、繰越金467万6千円を減額、歳出で支払基金交付金過年度分返還金104万3千円を増額。(原案可決・賛成多数)

◆第20号議案

平成21年度東金市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

既定の予算額3億9,943万9千円に歳入歳出それぞれ956万1千円を増額し、予算の総額を4億900万円としようとするもの。定期異動に伴う職員給与費の増額、及び後期高齢者医療広域連合納付金の出納整理期間内に納付となった保険料相当額の増額を行おうとするもので、主な内容は、歳入で繰越金934万9千円を増額、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金934万9千円を増額。(原案可決・賛成多数)

◆第22号議案

平成21年度東金市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

既定の予算額16億6,220万2千円に増減を加えず、歳出で事業費540万7千円を減額し、予備費を増額し、予算の総額を増額しようとするもので、主に定期異動に伴う職員給与費の減額、また、浄化センター・中継ポンプ場保守点検業務委託料及び産業廃棄物運搬処分業務委託料について、平成22年度を期間とし、限度額をそれぞれ、1億542万円、4,995万9千円とする債務負担行為を設定。(原案可決・賛成多数)

◆第21号議案

平成21年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

既定の予算額27億9,100万円に歳入歳出それぞれ6,146万9千円を増額し、予算の総額を28億5,246万9千円としようとするもの。

◆第23号議案

平成21年度東金市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

1,757万6千円に増減を加えず、歳出で事業費27万4千円を増額し、予備費を同額減額しようとするもので、定期異動に伴う職員給与費の増額。(原案可決・賛成多数)

発議案

◆発議案第1号

地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書について

◆発議案第2号

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書について

◆発議案第3号

現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書について

◆発議案第4号

国民健康保険制度の改善を求める意見書について

◆発議案第5号

子どもの医療費無料制度の早期実現を求める意見書について

◆発議案第6号

介護保険制度の改善を求める意見書について

請願

★請願第3号

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める請願

陳情

☆陳情第3号

現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

☆陳情第4号

国民健康保険制度改善のため国への意見書提出を求める陳情

☆陳情第5号

子どもの医療費無料制度早期実現のため国への意見書提出を求める陳情

☆陳情第6号

新要介護認定制度の中止・介護保険制度の改善のため国への意見書提出を求める陳情



【議員研修】8月4日、第1委員会室において、大塚康男氏を講師に招き議員研修が行われました。

市政に関する一般質問

地域医療

問 一市一町地域医療センターについて

(陵志会 清宮利男) 経営主体となる地方独立行政法人の設立時期、病院の建設主体と開設時期及び建設費の総額とその資金調達方法について伺いたい。

答 地方独立行政法人の設立は、県知事の設立認可と議会で中期目標の議決を受けるため、順調に行っている。6月前後と想定している。病院の建設主体は、開設を遅らせないよう基本設計を市町が行い、実施設計から地方独立行政法人が行う方法も考えたい。病院

問 一市一町地域医療センターについて

の開設時期は、昨年10月の病床配分の申請では平成25年4月を想定していたが、現在の検討では病院の場合、設計では十分な期間が必要と点や、引渡しから開院までの間、数ヶ月間病院全体のスタッフトレーニングが必要とことから、開設は平成26年度にずれ込むと予想している。総建設費は、概算事業費で約120億円を想定しており、その資金調達は、千葉県の医療機関整備事業補助金約10億円、病院事業債約10億円、残りの約10億円を東金市と九十九里町の一般財源で賄う予定である。

問 国保成東病院の解散・地方独立行政法人化に対する問題点についての市の考え方について

(清風会 小倉治生) 医療センターの立ち上げの問題は、発生から大分時間が経過しているが、ここに来て、一市一町で進めるという形でようやく先が見えてきたところである。そういった中、いろいろ問題があると思うが、現在の状況について伺いたい。

答 現在、病床の配分を受け、限られた財源の中で運営できる病院体制、あわせて医師確保の可能性を詰めてきている。現状で、病院経営についてはこれと何とかいけるだろうというところがある。医師の確保についても、千葉大の医学部附属病院で、先進事例の一つのたたき台として研修機能を持たせた附属施設について検討に入っていた。検討しており、これが実現すれば、医師確保は問題ないだろうと考えている。それを見据えた上で、今年12月までには開設申請を県に出したい。また、経営母体の公営企業型地方独立行政法人の立ち上げ・申請に向けて取り組んでいくが、これは開設申請の認可後になるため、順調に行っている。以降になると考えている。

平成 21 年第 3 回（9 月）東金市議会定例会に通告された一般質問の項目

◎は質問者

(通告順に掲載)

要 旨	会 派 状 況
・副市長から見た東金市政の問題点と改善策について ・財政調整基金について ・財政の立て直しについて ・市の埋蔵金について ・市への要望書などの取り扱いについて ・一部事務組合の負担金について ・窓口ワンストップサービスについて ・1 市 1 町地域医療センターについて ・国保成東病院についての市の考え方について ・新型インフルエンザについて ・日本一安いガス料金を目指して ・ガス事業売却について ・樹木の繁茂による交通障害への対策について ・汚水 3 事業の取り組みについて ・いじめや不登校、非行について ・学童保育の現状と今後の対応について ・病後児保育について	志会 利 男 (代表質問) 明夫 樹男一 ◎清石 塚渡石 利 一 直徹公
・一部事務組合についての市の考え方について ・組織の改編によりもたらされた効果について ・第 2 次東金市財政リフレッシュ・プラン及び東金市集中改革プランについて ・小学校における教育指導について ・1 市 1 町地域医療センターについて ・長寿医療の方の人間ドックの助成について ・高額医療・高額介護合算療養費制度について	清風会 夫 文 (代表質問) 治 敬 ◎小倉 倉 戸 治 敬 大 宮 正 正
・平成 2 2 年度の予算編成・主要事業の考え方について ・1 市 1 町地域医療センターについて 医療センター及び付随する施設・店舗などを含む周辺のまちづくりについて ・国保成東病院についての市の考え方について ・幼稚園と保育所の一元化の進捗状況と今後の進め方について ・市内の排水対策について ・市道 0 1 3 4 号線の改良の進捗状況について ・商店街などのまちづくり・活性化について ・本年のやっさ祭りの状況について	着政会 廣 博 (代表質問) 政 正 ◎大 野 正 正 早 野 関 正
・避難支援対策について ・地域主権型道州制について ・病後児保育について ・ヒブワクチンについて ・待機児童について ・ユネスコ・スクールへの参加について ・スクールニューディール政策について ・麻薬撲滅運動について ・建設業と地域の元気回復事業について ・ごみ袋の広告掲載等について ・改正農地法について ・合併処理浄化槽普及の推進について ・1 市 1 町地域医療センターについて	公明党 知 子 (代表質問) 子 亮 ◎佐 竹 悦 栄 中 丸 施 栄
・道徳教育について 道徳教育時間の確保について 道徳教育の内容について 道徳教育の時間割りにについて ・児童虐待防止について 近年の虐待件数及び内容について 虐待の要因となっているものは何か 虐待防止の対策と将来への考え方について ・新型インフルエンザ対策について ・緑花木センター新組織の立ち上げについての市の考え方について 進捗状況等について ・有害鳥獣駆除事業について ハクビシン等による被害について	志政会 吉 (個人質問) 幸 ◎広 田 幸 吉
・平成 2 0 年度決算カードからみた財政状況について 経常収支比率改善について 物件費、扶助費、補助費について ・防災体制について ・公共下水道事業について ・ガス事業について ・1 市 1 町地域医療センターについて	無名の会 博 幸 (個人質問) 幸 ◎伊 藤 博 幸
・1 市 1 町地域医療センターについて ・国保成東病院の解散・地方独立行政法人化に対する問題点についての市の考え方について ・国保成東病院の解散・地方独立行政法人化計画の中止についての市の考え方について ・医療費の一部負担の減額免除制度について ・可燃ごみ袋の値下げについて ・新認定制度により介護度が軽度と判定された方への対応について ・介護保険施設と制度利用等の基盤整備について ・生活道路の改修について	日本共産党 京 子 (個人質問) 子 ◎前 田 京 子
・政権交代と今後の東金市政について ・国保成東病院の解散・独立行政法人化についての市の考え方について 協議会の第 1 次報告書について 国保成東病院の存続と地域医療の在り方について 東金市脱退と 1 市 1 町地域医療センターとの関連について ・1 市 1 町地域医療センター（東金市、九十九里町）について 公的病院と自治体の役割について 二転・三転した地域医療センター構想の問題点について 基本コンセプトについて 地域医療、県立東金病院との乖離について 医療スタッフ（医師・看護師）要員体制について 24 時間、365 日診療できる地域医療再生について ・新型インフルエンザ流行シナリオと対策について	社会民主党 剛 (個人質問) 剛 ◎水 口 剛
・現状の東金市を取り巻く医療体制と 1 市 1 町地域医療センター開院後の医療体制について ・1 市 1 町地域医療センターの収支計画について ・国保成東病院における東金市の今後の財政負担について ・第 2 期基本計画及び平成 2 1 年度実施計画等における地域経済振興の現状と見通しについて ・プレミアム商品券発行による地域経済への効果について ・今後の財政見通しに伴う課題と対策について ・行財政改革の推進状況について ・平成 21 年度における経営方針と経営計画及び受益者負担について（下水道事業） ・平成 21 年度における経営方針と経営計画及び今後の運営施策について（ガス事業）	東金市民フォーラム 吉 (個人質問) 吉 ◎斉 藤 範 吉

会派状況は平成 21 年 5 月 16 日現在

（日本共産党 前田京子）
8 月 27 日付の国保成東病院一部事務組合解散・地方独立行政法人移行協議会の基本方針には、「成東病院の地方独立行政法人化はあくまでも地域の患者の便益を第一に考えるものである」とされている。しかし、国保成東病院を組合解散し、地方独立行政法人に移行した場合、患者や市民の負担は増え人件費の抑制により医療事故や医療サービスの下下、採算の取れない医療が切り捨てられ、行き場を失う患者が大量に生まれ、更なる医療崩壊につながる。患者にとって何の便益もないと考えるが、市の見解を伺いたい。

問 一市一町地域医療センターについて
（社会民主党 水口 剛）
医師は、今の現状のままでは千葉大には集まらない。しかし、新しい臨床をもつて、先進的事例の取り組みなどで解決していくとしているが具体的に示してほしい。また、千葉大における医師の常勤、派遣、召還の状況のデータについてどうなっているのか伺いたい。

答 医師確保の新しいシステムの形をはっきりと示してほしいということだが、今の段階では示すことができない。千葉大の中で今検討していただいているので、その形が出た段階で説明することになると思う。千葉大の勤務医の病院派遣のデータについては千葉大の事務局に問い合わせたが、該当するものは作成していないとのこと

財政

問 財政の立て直しについて
（陵志会 清宮利男）
第 2 期基本計画の間総括で身の丈に合った予算編成を行いたいと思うが、国保成東病院の一部事務組合解散、医療センター計画、緑花木センター解散、中央消防署建設に伴う負担金、義務教育施設整備事業などを取り込んだ場合、財政破綻にならないのか伺いたい。

答 これらはすべて必要な事業で、やらないで済むことではなく何らかの形で対応していくことが求められている。今後の事業の変動、公債費や、市税の動向など予定している歳入歳出を見て、財政調整基金の取り崩し・残高の推移を試算しているが、平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年は大変厳しい状況である。しかし、これらの事業はどうしても必要な、やらなければならない事業であるので、これらを実施しながら何とかしのいでいくことを基本に考えていく必要がある。また、今回上程した補正予算における地方交付税、地方特例交付金の増額や公債費の減少見込みは、今後大きく効果を及ぼしてくると思っている。

福祉・教育

問 長寿医療の方の人間ドックの助成について
（清風会 小倉治夫）
高齢化社会に向かい、高齢者は毎日健康に過ごすことが必要である。人間ドックの助成を行うと現在の医療制度において長寿の方々は保険料を払っているのに、人間ドックを受診した場合に助成がない。どういうわけなのか気になる人が多く聞いているが、この点について説明を伺いたい。

答 長寿医療制度の歳入は、国・県、市からの負担金、医療保険者からの支援金、被保険者からの保険料で賄われている。医療保険者とは市町村の国保や被用者保険者、いわゆる社会保険等である。人間ドックの助成を行うと歳出が増加するため、国・県、市からの負担金、医療保険者からの支援金、被保険者の保険料が上がることになる。また、人間ドックの助成を実施していない被用者保険もあるため、長寿医療の方の人間ドック費用を支援金に含めることについて理解をいただけない状況もあると聞いている。こういった状況の中、現段階では人間ドックの助成事業を実施していない。

問 ヒブワクチンについて
（公明党 中丸悦子）
ヒブとはインフルエンザ菌 B 型のこと、細菌性髄膜炎などの発症の原因となる。国内では年間約千人の子どものが自然感染で細菌性髄膜炎になり、その内の約 5 % が亡くなり、4 人に 1 人は後遺症に苦しんでいる。その原因はヒブが 60 % で、約 30 % が肺炎球菌である。現時点で

る。ヒブワクチンへの公費助成が自治体で広がっているが、ヒブワクチン接種の必要性についての見解を伺いたい。
答 乳幼児の髄膜炎の多くはヒブによるもので、ヒブワクチンを用いて細菌性髄膜炎を予防していくことは重要であると認識している。任意の予防接種のため、接種費用は自己負担、基本接種回数 4 回で約 3 万円である。市としては市内の小児科の医師から意見を聞いた、研修会に積極的に参加し、その情報収集に努めている。また、認可されてからまだ日が浅いこともあり、更に国の情報の収集に努めたい。現時点で

は、国が予防接種法による定期の予防接種として位置づけるまでは、市としての導入は難しいと考えている。

問 幼稚園と保育所の一元化の進捗状況と今後の進め方について

（着政会 早野 誠）
今、日本の社会全体で異口同音に少子高齢化対策を唱えているのが現状である。以前の新聞調査によると保育所の待機児童は全国で4万人もいて、一方で幼稚園に入る子どもは減少傾向にあるとなっている。幼稚園と保育所の一元化により、こういう問題もある程度解決していくと感ずるが、一元化に向かっているのか伺いたい。

答 幼稚園と保育所の一元化・今後のあり方については、第2次東金市財政リフレッシュ・プランの民営化の検討という位置づけの中で検討している。現在は保育所・幼稚園の今後の検討に係る庁内関係者会議で、現状が適正規模・適正配置となっているか、また多様な魅力的なサービスが可能な民間能力の導入や、そのための環境整備の必要性はどういうものがあるかということを中心に基本方針を検討している。

問 スクールニユードール政策について

（公明党 中丸悦子）
国のスクールニユードール構想は、21世紀にふさわしい学校づくりに向け、エコ化、耐震化、情報化を3本柱に教育環境の抜本的充実を推進するものだが、正気小学校の建て替えの計画に太陽光発電パネルの設置が入っていない。この設置の場合、平均で必要経費の97・5%が国庫補助と臨時交付金などで手当てされ、自治体の負担は2・5%で済む。環境問題を考えると、エネルギーの確保、子どもたちへの環境教育にこの太陽光発電は必要不可欠と考える。学校への太陽光発電の取り組みについて考えを伺いたい。

答 9月1日に締め切られた国の第二次募集に、小学校・中学校合わせて6校に対して設置希望があるというところで応募している。しかし、国は補助金の配分予定額を超えた場合には各自治体の事業を圧縮して調整を行うとしているので、今後の補助金の動向を見ながら事業化に向けての検討をしたいと考えている。

問 道徳教育について

（志政会 広田幸吉）
昨今の子どもの社会を鑑みると、いじめ問題や少年非行の低年齢化が進行している。まさしく、忍耐力の欠如と個人主義の横行で、今こそ道徳教育の充実を図り、規範意識や公共心を養うべきと考えるが、道徳教育の時間数や教育内容について伺いたい。

答 道徳の時間は小・中学校とも週1時間、年間35時間を確保しているが、道徳教育は道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して道徳的心情、判断力、実践力や態度を育成し、児童・生徒一人ひとりの道徳的実践力を育成するように努めている。市教育委員会は、学校教育指導指針で豊かな人間性や社会性を培う心の教育の推進、命を大切に、健康でたくましい心と体を育む教育の推進等を重点目標にして、具体的な施策を学校に示している。学校では、国の学習指導要領や市の学校教育指導指針で示された教育価値等を目標として、全体指導計画を作成し、更に学校の実態に即した形で重点目標を設定して指導に当たっている。

建設・経済

問 市内の排水対策について

（着政会 早野 誠）
上宿の旧国道とJR東金線の間は、浸水の発生がないとは言えない地域である。地盤は西から東に勾配しており、近年、西側の保水

力があつた農地が宅地化され、東の下流側にはJR東金線と国道128号があつて水の流れを妨げている。排水改善の進み具合について伺いたい。

問 公共下水道事業について

（無名の会 伊藤博幸）
一般会計から特別会計への多額の繰り出しが、市の財政に影響していると思われる。近隣市町と比較してもかなり大きな額で、本市の下水道事業特別会計では、一般会計からの繰出金が9億円を超える。都市計画税を大きく上回っている。本市の場合、料金の設定が安いので交付税措置がないのだと思うが、措置を受けるにはどの程度の下水道料金に設定すればいいのか、その水準について伺いたい。

答 下水道費への交付

税措置について、平成21年度では6億1千万円の基準財政需要額で算入されているが、地方交付税の算定においては1立方メートル当たりの平均単価が150円以上の場合、高資本費対策として財政措置を受けることができる。本市は平均単価が約135円であり、現状ではこの財政措置がない。また、この財政措置は供用開始から30年間に限定されているため、本市では平成25年までということになる。

問 日本一安いガス料金を目指して

（陵志会 清宮利男）
ガス事業の平成20年度の剰余金の処分では、当年度未処分利益剰余金1億6,260万円のうち、ルールに基づいて利益積立金800万円を計上し、任

意の積立金である災害準備積立金は、総額5億円を目標に1億4,900万円を積み立てようとしている。ルールに基づく積立金を除いた剰余金のすべてを災害積立金とせず、安価なガス料金実現のためにその一部を振り向け、利益の一部を利用者に還元すべきではないか。経営的に順調な現在、日本一安価なガス料金を目指すことは可能であると思うが、考えを伺いたい。

答 現在ガスの供給元から購入ガス原価の引き上げを求められており、将来ガス種の変更もある。そして、事務所、倉庫、ガバナール、ガスホルダー等の設備の更新、本支管等の工事費の市負担額の見直しも検討している。また、ガス料金の改定は、経済産業省の

認可制度となっており、総合的な見地から今後の推移を見守ることが必要であると考えている。

問 平成21年度における経営方針と経営計画及び今後の運営施策について（ガス事業）

（東電ガス 齊藤範吉）
平成20年度末利益剰余金のうち、建設改良積立金約10億円の今後の運用について伺いたい。また、現金及び預金約11億円の運用について、平成20年度の受取利息は162万7千円で、非常に低利での運用であるが、その内容を伺いたい。

答 建設改良積立金の運用として経年管の入れ替え工事は、当初、平成15年度から平成27年度までに4万7,370mを予定していたが、積立金が整ったことから平成21年度以降の分を5年前倒しして、平成27年度までに完了させたいと考えている。今年度も業務を精査して可能な限り追加を考え、来年度以降は更に検討し、早期に完了させたい。資金の運用については、平成20年度は、1年定期に3百万円、3カ月定期及び6カ月定期に各3億円、計6億3百万円を定期預金で運用した。平成21年度予算では更なる運用の改善として、3カ月定期をなくし、1年定期を3百万円から4億3百万円にして有利な運用に努めている。

平成 21 年第 4 回 東金市議会臨時会

市長提出議案

東金市立正気小学校校舎建築工事の請負契約の締結について可決

請負契約の締結について可決

平成21年第4回東金市議会臨時会が、去る10月6日に開かれました。
この臨時会には、市長提出の議案1件が提出され、可決されました。

◆第1号議案

工事の請負契約の締結について
東金市立正気小学校校舎建設工事に係る請負契約の締結について、古谷建設株式会社・5億1,187万5千円・落札率75・0%。議会の議決を求めるも、（一般競争入札・（原案可決・全員賛成）



平成21年度
議会編纂委員会
委員長 布施 栄亮
副委員長 水口 剛
委員 佐竹 真知子
委員 石田 明
委員 大野 政廣
委員 大野 政廣